

ハートフルなんぶ



2021. 10月号 vol. 276



長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川 1201 番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

第23回図書館まつり開催のお知らせ

10月23日(土)・24日(日)に南部図書館まつりを開催します。

- ・美篤堂さんによるワークショップ(有料:24日のみ。事前受付、先着20名様)
- ・accototoさんによるワークショップ(有料:24日のみ。当日受付、先着20名様)

※各ワークショップのお申込み方法等については図書館HP・チラシをご覧ください。

- ・リサイクル広場(南部図書館2階大会議室)
- ・おはなし会・工作の部屋

この他に、押し花・地域スポーツ団体のグッズ・手作り絵本・職員おすすめ本の展示なども行います。例年通り、本の福袋もご用意しています。

※感染症拡大防止のため通常よりイベントの内容を縮小しています。ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、手指の消毒にご協力ください。

発熱、咳等の症状のある方は来館を控えていただくようお願いいたします。

密にならないように配慮はしておりますが、お並び頂くような場合は職員の指示に従ってください。

感染状況によりましてはイベント内容の縮小・または中止となる場合もございますので、ご了承下さい。

図書館まつり詳細、開催状況についてはホームページ等でお知らせいたします。

今月の 新刊案内



- 『遠(とおくの)巷説百物語』京極 夏彦／著 KADOKAWA ≪Fキ≫
『婿どの相逢席』西條 奈加／著 幻冬舎 ≪Fサ≫
『一夜の夢』佐伯 泰英／著 文藝春秋 ≪Fサ≫
『君と歩いた青春』小路 幸也／著 中央公論新社 ≪Fシ≫
『ヒトコブラクダ層ぜっと 上・下』万城目 学／著 幻冬舎 ≪Fマ≫
『あなたにオススメの』本谷 有希子／著 講談社 ≪Fモ≫
『わらべうた』宮部 みゆき／著 PHP 研究所 ≪BFワ≫
『食卓で読む一句、二句。』夏井 いつき／著 ワニブックス ≪911.36ナ≫
『アガワ流生きるピント』阿川 佐和子／著 文藝春秋 ≪914.6ヤ≫
『青森の八戸にある小さな本屋さんの猫がかわいいポップの本』ポップ担／著 小学館 ≪024ホ≫
『モヤる言葉、ヤバイ人』アルテイシア／著 大和書房 ≪367ア≫
『ゆるかわ古生物図鑑』高橋 のぞむ／作・絵 西東社 ≪457タ≫
『いやし図鑑』信田 広晶／著 KADOKAWA ≪498シ≫
『志麻さんの魔法のソースレシピ』志麻／著 マガジンハウス ≪596シ≫
『観て楽しい育てて美味しい野菜の再生栽培』大橋 明子／著 産業編集センター ≪626オ≫
『脳が目覚めるすごい!クイズ大全』知的生活追跡班／編 青春出版社 ≪798ノ≫
『理系の「なぜ?」がわかる本』小谷 太郎／著 青春出版社 ≪Y404コ≫



10月のテーマ
「大人向け
ファンタジー」

- 『七夜物語 上』川上 弘美／著 朝日新聞出版 ≪Fカ1≫
- 『鬼人幻燈抄 [1]』中西 モトオ／著 双葉社 ≪Fナ≫
- 『黄泉坂案内人 [1条目]』仁木 英之／著 角川書店 ≪Fニ≫
- 『分かれ道ノストラダムス』深緑 野分／著 双葉社 ≪Fフ≫
- 『騎士団長殺し 第1部』村上 春樹／著 新潮社 ≪Fム1≫
- 『ペンギン・ハイウェイ』森見 登美彦／著 角川書店 ≪Fモ≫
- 『吉祥寺よろず怪事(あやごと)請負処 [1]』結城 光流／著 KADOKAWA ≪Fユ≫
- 『王都の落伍者』沢村 凜／著 新潮社 ≪BFサ1≫
- 『銀をつむぐ者 上』ナオミ・ノヴィク／著 静山社 ≪Y933ノ1≫
- 『囚われちゃったお姫さま』パトリシア・C.リーデ／著 東京創元社 ≪Y933リ1≫
- 『ミヤマ物語 第1部』あさの あつこ／著 毎日新聞社 ≪Y913ア1≫
- 『旅者の歌 [1]』小路 幸也／[著] 幻冬舎 ≪BFシ1≫
- 『大人のファンタジー読本』やまねこ翻訳クラブ／編 マッグガーデン ≪902オ≫
- 『英国ファンタジーの風景』安藤 聡／著 日本経済評論社 ≪909ア≫



Essay

『天使の梯子はファンタジーの入口』

以前、志賀高原のキャンプ場へ行った時のこと。朝起きると、テントの周りにカメラを持った大勢の人たちが。一体何が起きたのか。すっぴんにボサボサ頭を両手でなでながら、テントの近くで三脚にカメラをセットしている男性に声をかけた。どうやらこのキャンプ場は、放射冷却によって地表の空気が冷やされ、さらに高地のため、とても霧が発生しやすい場所だそう。そこに朝日が差し込むと幻想的な写真が撮れる有名なスポット(尾を引くように見える光の筋、”天使の梯子”が見られる)とのことで多くの人が集まっていた。ちょうど日の出から1時間くらいすると霧が木々を包み込むように、上空へ移動しはじめ、朝日が差し込んできた。ほんの数分だったが、夢の中にいるようなその光景から目が離せなかった。

しかし、どこかで見たことがある光景だったなど、不思議な気持ちになり、スマートフォンで撮影したその写真を何度か見返していた。帰りにキャンプ場の管理人さんと話した。この場所は30年前はすべて沼地で、観光開発のため埋め立てられたそう。それで思い出した！小学生の頃、録画したビデオテープが擦り切れるほど見た映画のワンシーンだ。勇者アトレユが、ファンタージェン国を救うため旅に出るのだが、その途中、”悲しみの沼”で愛馬が沼にのまれて死んでしまう。その”悲しみの沼”での一場面とその光景が重なったようだ。

当時学校の図書館で、原作の本を借りて読んだことがある。主人公の男の子バスチアンが本屋から持ち出したのと同じ、分厚くて赤銅色ですこし光沢のある本を見つけた時は、自分もバスチアンになった気分で棚から本を取り、家に帰って毛布にくるまりドキドキして読んだことを思い出した。巨大な沼亀のモーラは、本の中では若さアレルギーはなかったし、勇者アトレユの愛馬が喋っていたことに驚いた。

実は、図書館で借りたこの本は最後まで読めずに返却された。あまりのページ数に途中で挫折してしまったのだ。今度どこかの本棚でその赤銅色の本を見つけたら、次は必ず、勇者アトレユと一緒にファンタージェンを救うつもりだ(笑)。

出典：映画「ネバーエンディングストーリー」ミハエル・エンデ「はてしない物語」

寄稿：夕焼けざくろ



■ は休館日です。

開館時間10:00~18:00

南部図書館 開館カレンダー

2021年	日	月	火	水	木	金	土
10月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

2021年	日	月	火	水	木	金	土
11月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				